



手作業で本にカバーを付ける参加者

ブックコーティング体験会 5月29日
本の森づくりに市民活躍

「こども本の森 遠野」に配架する本のコーティング体験が市立図書館視聴覚ホールで行われました。市民ら30人が参加。ハサミと定規を使い、200冊の本に傷や汚れなどが付くのを防ぐ透明なカバーを貼り付けました。提案した遠野北小学校図書ボランティアエプロンの木元由枝さんは「上手に貼れていないのも味。市民の手で作れるのは本の森ならではのこ」と声を弾ませました。



ぬかるむ田んぼに悪戦苦闘しながら稲を植える青笹小児童

青笹小児童が田植え体験 5月26日
泥にまみれて酒米を手植え

上閉伊酒造(青笹町)は、小学校の社会科で学習する米作りを体感してもらおうと、同社裏の田んぼ(約17アール)で田植え体験を開催。青笹小5年生23人が、酒米になるひとめぼれを植えました。体験会は今年で7回目で、秋には収穫体験も行う予定です。田植えは初めてという菊池大翔くんは「田んぼは歩きにくいけれど、ひんやりして気持ちよかった。元気に育って、おいしいお酒になってほしい」と期待を込めました。



水路の雑草を刈り取る地域住民

聖火リレーを前に環境美化活動を実施 6月13日
聖火リレー「気持ちよく走って」

18日に行われた東京2020オリンピック聖火リレーを前に、松崎町7区の走行ルートで清掃活動が行われました。地域住民約15人が参加。走行ルート脇水路の景観向上を目指し、約2時間、雑草や土砂を取り除く清掃を行いました。同区自治会長の高田富雄さんは「見栄えを良くしたいと思って地域の人たちに協力をお願いした。きれいになったコースで気持ちよく走ってほしい」と話し、汗を拭きました。

5月13日 日本教育会岩手県支部遠野地区会が『遠野の先人』発行
遠野の先人の生き方伝える

同会(荒田美知子会長)は、江戸から平成にかけて産業や文化発展に尽くした郷土の偉大な先人の活動を会員などが執筆した『遠野の先人(89頁・非売)』を発行。市内中学校や市立図書館などに寄贈しました。同書では▷菊池勇夫▷武田忠一郎▷山奈宗真▷鈴木重男▷伊能嘉矩▷佐々木喜善▷岸田袈裟——7氏を紹介しています。荒田会長は「苦難にも立ち向かう先人の生き方を学んでほしい」と思いを語りました。



菊池広親教育長へ『遠野の先人』を寄贈する荒田会長(右)

5月18日 とおの就職ガイダンス
仕事を知り、将来を考える

就職ガイダンスはあえりあ遠野交流ホールで開かれ、市内の▷製造▷建設▷医療▷福祉・介護——など29事業者が仕事内容や福利厚生などを紹介しました。高校3年生ら65人が参加。参加者は事業者らの説明を熱心に聞いて回り、将来を考えました。菊池優雅さん(遠野緑峰高3年)は「会社で働く人から実際に話を聞き、働くための準備、イメージがわいた」と充実した表情を見せました。



会社の仕事内容や特徴を説明する事業者と耳を傾ける高校生

4月～ 市内小中学校に新しいALTが着任
本場の英語と文化を学ぶ

遠野の子どもたちに英語や外国の文化を教えるALT(外国語指導助手)として、▷フィリピン共和国出身のマリアさん▷フィジー共和国出身のレキマさん▷アメリカ合衆国出身のニコラスさん——の3人が着任。市内の小中学校で授業を担当しています。遠野東ブロック担当のマリアさんは「失敗を恐れずにチャレンジしてほしい」と期待を込め、中央ブロック担当のレキマさんは「まちで会ったら気軽に声を掛けてください」とほほ笑みます。遠野西ブロック担当のニコラスさんは「日本と異なる文化やそこに住む人々について伝えたい」と意気込みを語りました。



【3人に聞きました】①名前 ②ニックネーム ③遠野の皆さんにひとこと

①マリア・カメル・ギパナオ
②カーミ先生
③日本のアニメや食事が大好きです！

①レキマ・キャックウーソー・ウルイナサラビ
②キマ先生
③遠野のしし踊りに興味があります！

①ニコラス・フィリバツォ
②ニック先生
③マラソンとピアノ、ジブリ映画が好きです！

※遠野東ブロック…遠野東中、土淵・上郷・附馬牛・青笹小 中央ブロック…遠野中、遠野・遠野北小 遠野西ブロック…遠野西中、小友・綾織・宮守・達曽部・鱈沢小

2 エス・ディー・ジーズ
教えて！SDGs ゴール2.
飢餓をゼロに

SDGsのゴール2は、全ての人々が1年中、安全で栄養がある食料を十分に得られるようにすることが目標です。日本でも、食料不足を感じたことがある世帯は9.1%に及びます(※1)。一方で、1人あたり1日約130g(茶碗1杯分)の食品ロスも発生(※2)。▷食べきれない分だけ買う▷賞味期限の近い食品から買う▷余った食料をフードバンク(食料品ポスト)に寄付する——などが推奨されています。



写真/総合福祉センター正面入口の、レトルト食品や缶などの食料を必要な人に提供できる食料品ポスト

※1…第7回世界価値観調査より。調査前1年間に、食料不足を常にまたは時々感じた人の割合(調査数:1,353世帯)
※2…総務省人口推計平成30年度食料供給表より